

## 改善症例

63歳 男性 職業；元公務員／活動；ハイキング・自転車  
診断名；先天性両股関節変形症（人工股関節置換手術後のリハビリ）

Q.身体で悩みだった部分はどこですか？

A.両側股関節の疼痛及びそれに起因する腰、背中等の痛み。

Q.治療するきっかけは？(どのように知りましたか？)

A.手術から数ヶ月間は筋力が弱いため、動きの良くなった股関節をコントロールすることができませんでした。それもあって、手術だけでは普通に日常生活をおくれるようにはならないと感じていました。

Q.(治療を受けて)身体にどのような変化がありましたか？

A.治療を受けることで徐々にカラダの動きが自然な感じになってきました。

半年過ぎ頃から股関節の痛みを意識しなくなり、杖の持ち歩きもやめました。

ただ、少し長く歩くと、背中や腰に張りを感じることは暫く続きました。

一年経過頃からは、痛みを感じることはほぼ無くなりましたが、歩いた時の腰や背中の張りは続いていました。

一年半経過後からは、日常での痛みはなく、歩いたときの張りはありますが軽くなってきたと思います。

Q.治療はどのようなものでしたか？これまで受けた治療(リハビリ・整体・接骨院・鍼灸...)

A.股関節周辺以外にも顔、口、顎、肩、背中、腰、脚などに多様な治療をしていただきました。書ききれません□。

Q.現在の状態、ハッピーな点はありますか？

A.手術を受けた病院は、とりあえず歩いて退院できるまでのリハビリ？でしたので、本来のリハビリとは違うものであったと思います。

身体の状態や治療について説明を受けた上で、確実なリハビリをしていただけたと思っています。

日常生活において股関節に痛みはありません。動作制限もなしです。

48年間続き、私の人生そのものであった痛みが消えて、□ハッピーです。

